

## 「第1回徳山ダムモニタリング部会」審議内容メモ

日 時：平成 17年11月21日（月） 13:00～15:45

場 所：K K Rホテル名古屋 3階 蘭の間

出席者：（委員）佐藤部会長、阿部委員、駒田委員、西條委員、中村委員、藤田委員、前田委員、松尾委員（五十音順）8名  
（事務局）35名（一般傍聴）7名（報道機関）4社

### 【審議内容等】

#### 1. 部会長について

部会長については、フォローアップ委員会より佐藤正孝委員（名古屋女子大学名誉教授）が指名されたことが報告された。

#### 2. 設立の趣意、規約、部会の公開について

- 1) 設立の趣意、規約については事務局より説明がなされ了解した。
- 2) 部会の公開については資料6のとおり公開することで了解した。

#### 3. 徳山ダム建設事業の進捗状況について

徳山ダム建設事業の進捗状況について報告がなされた。あわせて、徳山ダムモニタリング部会等のスケジュールについて説明がなされた。

#### 4. 既往調査結果概要等について

徳山ダム建設事業等において実施された水環境、動植物、生態系等の調査結果の概要及び徳山ダム建設所が実施及び実施を予定している環境保全対策の取り組み状況について説明がなされた。

#### 5. 今後実施するモニタリング調査計画（案）の概要について

モニタリング調査計画（案）の概要について説明がなされ、審議し、以下のとおり指摘した。

- 1) モニタリング調査計画の基本方針については、部会として了解する。なお、モニタリング調査計画の詳細内容については、今後、プロジェクトチームで検討する。
- 2) 試験湛水時のダム下流域における流況の変化を提示すること。
- 3) ワシタカ類調査については、行動圏の変化等、質的な変化を定量的に評価できる手法をプロジェクトで検討すること。
- 4) 水質調査の地点計画について、具体案を検討すること。
- 5) 水鳥の調査地点については、定点の他に船を利用した移動観察調査の実施についても検討すること。また、調査時期についても特に湛水初期の段階に複数回行えるよう留意すること。
- 6) ダム運用後の流水の正常な機能の維持を評価するための調査項目について追加すること。

#### 6. 審議内容の確認

本日（平成 17年11月21日）の審議結果を本メモに基づいて確認した。

以 上